

第218回研究科委員会・第323回教員会議 議事要録

日時：令和3年5月12日（水） 13：30～

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

会議に先立ち、新学類長から就任の挨拶があった。また、執行部が変わったことに伴い、評議員および投票の結果選出された評議員から（開票結果後）挨拶があった。

大学院改革に関して、教育研究評議会および運営会議の内容について先に報告があった。

議題

研究科委員会

[審議事項]

1．入学試験委員会

(1) 令和4年度大学院入試におけるTOEICの取り扱いについて

資料1にもとづき、令和4年度大学院入試におけるTOEICの取り扱いの内容や、事前予告の文書をHPに掲載すること、間に合わない場合には連絡していただきたい旨を受験票の送付時にも記載すること等が説明され、審議の結果承認された。

2．教務委員会

(1) 令和3年度9月修了の日程について

資料2にもとづき説明され、承認された。

(2) 令和3年度非常勤講師計画について

資料3にもとづき、前回未定部分の内確定した部分について説明され、承認された。

(3) 共生システム理工学研究科規程の一部改正について

資料4にもとづき、環境放射能学専攻博士後期課程の開設授業科目について、実習とすべき部分を演習としていたので改正する、との説明があり、承認された。

(4) 環境放射能学専攻博士後期課程学修案内の修正について

資料5にもとづき、前述の改正に伴い、学修案内の対応する部分について修正する、との説明があり、承認された。

3．その他

なし

共生システム理工学専攻会議

[報告事項]

1．教務委員会

(1) 令和3年度大学院研究課題等一覧について

資料6にもとづき、研究課題等一覧について報告があり、今年度からLCで院生が登録できるようになったので、研究課題と指導教員について間違いがないか確認いただきたい、とのアナウンスがされた。

(2) TAの募集について(食農学類からの依頼)

資料7にもとづき、食農学類からのTAの募集について、報告された。

教員会議

[審議事項]

1．学類長

(1) 評議員の選出について（選挙）

評議員が学類長に就任したことに伴う評議員の補欠選挙の投票が行われ、24票を獲得した教授が評議員に選出され、結果を学長室へ報告することとした。

2．財務・施設委員会

(1) 令和3年度予算編成方針と予算配分について

資料8にもとづき、基本方針が説明され、教員一人当たりの研究費の配分額は、昨年度と同額の184,000円となること等が説明され、承認された。

3．教務委員会

(1) 令和3年度9月卒業の日程について

資料2にもとづき提案され、承認された。

(2) 令和3年度非常勤講師計画について

資料3にもとづき、前回未定部分の内確定した部分について説明され、承認された。

(3) 基盤教育科目(理工担当分)の今後の担当体制について(委員)

資料9にもとづき説明され、承認された。なお、問題探究科目のうち、「再生可能エネルギー」に代わる科目を開講する必要があるため、担当可能な場合は今月末を期限に担当委員までお知らせいただきたいとの依頼があった。

[報告事項]

1．入学試験委員会

(1) 令和4年度個別学力検査等の専門委員について

出題・調整・面接の各委員について依頼済みであり、日程等都合の悪い場合は入試委員までお知らせいただきたい、とのアナウンスがあった。

2．教務委員会

(1) 転学類・転コースについて

資料10にもとづき、他学類から理工への転学類は過去には無いことや、コース定員が埋まっている場合の転コースについては、基本話し合いで対応する、との説明がされた。

3．奨学寄附金等の受入れについて

奨学寄附金1件、共同研究3件、受託研究1件、受託事業1件が報告された。

[その他]

1．教務委員会

(1) 各教員の担当授業科目の照会

講義の実態について15時間中何時間担当したかなど後程メールで問い合わせるので、協力いただきたいとのアナウンスがされた。

(2) マレーシア政府派遣留学生への対応について

いまだに入国できず、いつ入国できるのかもわからない学生が1名おり、このままの状態が後期まで続く可能性があることをご承知おきいただきたい、とのアナウンスがされた。

(3) 学生の休学について

資料がプロジェクター投影され、1名の学類生が経済的理由により休学するとの報告がされた。

2．学生生活委員会

(1) 「アクティブ・スチューデント・コンテスト」の実施について

学生の力によるキャンパスの活性化や大学改革を目的に実施する、との報告がされた。

3．国際交流センター運営会議

(1) 国際交流リーフレット

新入生には配布済みであるが、研究室の学生で興味のある学生がいればご指導いただきたい、とのアナウンスがあった。

4．自己評価委員会

メールでも改めてお知らせするが、情報更新と自己評価シートの提出を5月12日〆切で提出
いただきたい、とのアナウンスがされた。

教育研究評議会

第355回(4月20日開催)報告

[審議事項]

(1) 大学院の改革について 【資料5】

大学院教育プログラム検討ワーキンググループの最終報告について、各学類から出された意見
や質問が紹介され、次回評議会で回答する旨、説明があった。

[報告事項]

(1) 第4期中期目標前文(案)策定及び第4期中期目標(案)の選定等について【資料1】

学長より、資料1に基づき、第4期中期目標期間に向け、「第4期中期目標前文(案)」の作
成及び「第4期中期目標期間における国立大学法人中期目標大綱(仮称)(素案)」からの目
標の仮の選定を行ったことについて報告があり、学長室より、標記の説明および目標計画委員
会において確認された中期計画(骨子)について説明があった。

引き続き、学長から、第4期の大学経営はエンゲージメント型にしなければならないこと、

昨年度の経営協議会における本学の評価に対する意見として、課題意識が極めて薄く、P
D
C
Aサイクルが弱いという厳しい指摘があったことを受け、第4期中期目標・中期計画では改
善が必要であるとの発言があった。

(2) 第3期中期目標期間の教育研究に関する評価報告書(案)について【資料2】

総務担当理事・副学長より、資料2に基づき、評価報告書(案)に対する意見の申立書を独
立行政法人大学改革支援・学位授与機構に提出することについて報告があり、学長室より、独
立行政法人大学改革支援・学位授与機構から送付された「中期目標の達成状況に関する評価結
果(案)」、「学部・研究科等の教育・研究に関する各現況分析結果(案)」、評価報告書
(案)に係る自己評価委員会の分析結果及び評価報告書(案)に対する意見の申立書について
説明があった。

(3) 就業規則の一部改正について【資料3】

総務担当理事・副学長より、資料3に基づき、附属学校の部活動指導員制度の導入に伴う「国
立大学法人福島大学パートタイム職員就業規則(令和3年5月改正・令和3年4月1日遡及適
用予定)」の一部改正について、就業条件検討委員会での審議を踏まえた報告があった

(4) 地方創生イノベーションセンター(仮称)構想に関する検討ワーキンググループの 設置について【資料4】

学長より、資料4に基づき、第562回役員会(4月19日開催)にて審議・承認された、
地方創生イノベーションセンター(仮称)構想に関する検討ワーキンググループの構成、最終
報告の期限等について報告があった。理工学類からは、教授に委員をお願いした。

構想のセンター内のデータサイエンス部門で検討している専任教員配置については、新しく雇
用するかどうかについては今後検討するものであり、あくまで構想段階であるとの説明があっ
た。

第356回(4月27日開催)報告

[審議事項]

(1) 共生システム理工学類長の辞任に伴う後任者の任期について【資料5】

学長から、資料5に基づき、共生システム理工学類長の辞任に伴う後任者の任期について、現
共生システム理工学類長の残任期間である令和5年3月31日まで(1年11か月)とする旨
提案があった。

(2) 第4期中期目標期間に向けた教員養成学部・学部等における構想に関する調書の作成 及び文部科学省との意見交換について【資料6】

学長から、資料6に基づき、教員養成学部・教職大学院・附属学校を置く国立大学法人と文部

科学省との間で、第3期中期目標期間における教員養成大学学部・教職員大学院・附属学校に関する現状や課題、第4期中期目標期間に向けた方向性を共有するため、調書を作成したことについての報告及びこの調書を文部科学省に提出することについての提案があり、引き続き、谷副学長から、調書の内容について説明があった。

(3) 福島大学名誉教授の称号授与について【資料7】

総務担当理事・副学長から、資料7に基づき、各学類から推薦のあった令和3年度の福島大学名誉教授の称号授与について提案（理工学類からは2名）があり、当該学類長及び学類長事務代理から、推薦内容の説明があった。

(4) 大学院の改革について【資料8】

大学院教育プログラム検討WGの最終報告への各学類教員会議・研究科委員会からの戻り報告に対する、役員会からの回答について説明があった。引き続き、第355回教育研究評議会及び大学院改革説明会（4月21日開催）で出された質問、意見及び要望等について紹介があり、これらの対応については、各学類・研究科で集約中の意見等とあわせて、後日文書で回答する旨説明があった。

[報告事項]

(1) キャリアセンター設置に向けた調査結果及び提案について【資料1】

広報・入試・就職・グローバル化担当副学長から、資料1に基づき、キャリアセンターの設置について提案があり、基盤教育主管からキャリアセンター設置に向けた調査結果について説明があった。引き続き、教育・学生担当副学長から、キャリアセンターにおけるキャリア教育について説明があった。

(2) 国立大学法人福島大学と三春町との包括連携協定の締結について【資料2】

研究・地域連携担当理事・副学長から、資料2に基づき、国立大学法人福島大学と三春町との包括連携協定の締結について報告があった。引き続き、研究・地域連携課地域創造支援センター副センター長から、協定書（案）の詳細について説明があった。

(3) 令和3年度科学研究費助成事業採択状況について【資料3】

研究・地域連携担当理事・副学長から、資料3に基づき、令和3年度科学研究費助成事業採択状況について、配分額、採択件数、新規採択率等の説明があった。

(4) 令和4(2022)年度の科学研究費助成事業の公募、内定時期の前倒し等について【資料4】

研究・地域連携担当理事・副学長から、資料4に基づき、令和4(2022)年度の科学研究費助成事業の公募、内定時期の前倒し等について報告があり、採択時期を早めスムーズに予算の執行や実施が可能となるよう、大型の研究種目（特別推進研究・基盤S・基盤A・帰国発展研究）が約2か月前倒しとなり、その他の種目は約1か月の前倒しとなる旨説明があった。

運営会議

第158回(5月11日開催)報告

(1) 令和3年度学長表彰について【資料1】

令和3年度学長表彰被表彰者が報告された。理工学類からは、学長学術研究表彰で教授が、学長学術研究奨励賞で研究員が、それぞれ表彰された。

(2) 令和2年度内部監査報告について【資料3】

資料3にもとづき、令和2年度内部監査実施計画書に基づく監査の結果について報告された。

(3) 地方国立大学定員増について【資料4】

資料4にもとづき、地方国立大学定員増について説明があり、学長から各学類で前向きに検討してほしいとの要請があり、本日の教員会議後の将来構想検討委員会で検討する、との説明があった。

(4) 大学院の改革について【資料5】

定員については、理工学研究科では2回入試を実施することを考えながら、今後詰めていきたいとの説明があった。

資料5-4にもとづき、教員仮配属案では、学系をベースに専攻を再編し一定規模の研究クラスターを形成することで、大学院における教育研究を強化することを目指している、との説明がされた。資料5-5では、具体的な配置案が示され、他研究科へ移動の候補となっている教員からは、教育面では理工に在籍していた方が学生にも有利と思われるが、移籍しなければならないのか、といった質問が出された。

また、資料5-6の大学院教育プログラムに関しては、修論の単位数は4では少ないと思われるが全体で統一するのか、学類の教育はどうなるのか、といった質問が出された。